

文化財防災センター × 鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課 合同企画

文化財を災害からまもる



— 被災の経験から、平常時の備えと連携を考える —

文化財防災センター 鳥取県

地震や豪雨は、地域の歴史や暮らしを物語る文化財にも被害をもたらします。ぼうさいこくたい2026 in 鳥取では、文化財防災センターと鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課が、セッションとパネル展示の2つの形で、文化財の被災と復旧の事例、そして平常時からの備えと関係者の連携についてご紹介します。文化財の専門家でなくてもご参加いただけます。

このような内容をご紹介します

- 平成28年鳥取県中部地震での文化財の被災と復旧
- 鳥取県・高梁市・松山市の地震・豪雨災害への対応
- 自治体の文化財部局・防災部局と地域・専門機関との連携
- 平常時からできるネットワークづくりと備え

セッション S-36

アーカイブ配信あり

自然災害による文化財の被災とその対応から考える — 平常時からの取り組みと連携 —

10月17日(土) 16:30~18:00

鳥取県立美術館 ホール



セッション詳細

近年の自然災害による文化財の被災と対応の事例をとおして、文化財を災害からまもるための平常時からの取り組みと、自治体・博物館などの関係機関、所有者、地域住民などの関係者との連携の重要性と意義について考えます。

登壇者

- 高妻 洋成 国立文化財機構 文化財防災センター センター長
- 中島 志保 国立文化財機構 文化財防災センター 主任研究員
- 松本 絵理 鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課 係長
- 三浦 孝章 高梁市教育委員会社会教育課 文化係長
- 楠 寛輝 松山市教育委員会文化財課 主幹(学芸員)



提供:松山市教育委員会



提供:高梁市教育委員会

パネル展示 P-31

文化財を災害からまもるために — 被災後の復旧と普段の取り組みと —

10月17日(土)・18日(日) 終日

鳥取県立美術館 2階南側通路



平成28年中部地震時の様子



パネル展示詳細

鳥取県内の文化財被災事例と復旧対応を、平成28年鳥取県中部地震を中心にご紹介します。後世へ継承するための備えと課題を考えます。

入場無料 / 事前申込不要 どなたでもご参加いただけます**会場** 鳥取県立美術館 (〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12/倉吉パークスクエア内)**対象** 自治体の文化財担当・防災担当の方/博物館・美術館・資料館の方/地域で文化財を守る活動をされている方/一般の方

主催:防災推進国民大会2026実行委員会(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議) 協力:鳥取県・倉吉市

大会公式サイト <https://bosai-kokutai.jp/2026/>

お問い合わせ:独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター

鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課

TEL: 0742(31)9056

TEL: 0857(26)7525

HP: <https://ch-drm.nich.go.jp/>HP: <https://www.pref.tottori.lg.jp/bunkazai/>